

❶「第2回 都城かわまちづくり実行委員会」開催しました！



実行委員会の様子。広い会議室ですがほぼ満員

会の立ち上げから3週間ほどたった8月26日の夜、第2回目の「都城かわまちづくり実行委員会(仮称)」を、都城市役所の会議室で開催しました。

この日の会議のメインテーマは、

- ・この場所(川の駅公園)を、どんな場所にしたいか？
- ・ここでどのような利用を行いたいのか？

たくさんの方が集まった場所で自分の意見を発表するのは、苦手な人も多いと思いますが、かわまちづくりでは、委員のみなさんの「創意」と「総意」が大事ですので、ちゃんと全員の思いを共有するために「KJ法」を用いています。

これは、ひとりひとりが大きなフセン紙に自分の意見を書いて前に張り出し、全員の意見を見ながら議論を進める方法です。

ホワイトボードいっぱいになんか思いから、未来の川の姿が少しだけ見えて来たようです。



大きなフセンに色んな思い

❷ 拝見! あなたの町のかわまちづくり

熊本県山鹿市では、菊池川を拠点とした地域の活性化として、平成21年度からかわまちづくりに取り組んで来ました。「山鹿市・川とまちづくり推進協議会」等の議論を経て、平成22年5月に、サッカーコートや多目的広場、カヌー乗り場等を備えたやまが湯ノ瀬公園が完成しました。現在は、「菊池川育てねっと」が、利用状況の管理や定期的な草刈りを行っています。



広い芝生の公園に



サッカー湯ノ瀬川カップ!



時々草刈りしてます



今後の予定としては、10月上旬に第3回目の実行委員会(仮称)を行う予定です。次回は、この会の正式な名称も決定する予定です。川や水辺で何をやってみたいか、今回出たアイデアをもっと具体的なものにして、かわまちづくりのプランを発展させて行く予定です。この「かわまちづくり」の取り組みや、地域を活性化する活動等にご興味のある方は、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡下さい。

今後の予定

「YOUは何しに大淀川へ？」

●「この場所をどんな場所にしたいか？」

「人が集まってくる場所」、「誰でも2回、3回と行きたくなるような場所」、「子供を遊ばせている間、大人も楽しめるような場所」、「無料Wi-Fiも使える情報発信所」、「河畔環境再生の見本になるような場所」、等、色々な意見が出されました。中には、「犬も一緒に遊べる場所」という意見も。

同時に「もっと水質を良くしないと川へは安心して入れない」という指摘も出ました。「やりたいこと」の中から、「やるべき」と「少し見えて来ました」。

●「ここでどんな利用をしたいか？」

一番多かった「川に入って遊びたい!」という意見に次いで、「バーベキューがしたい」という人が多数。「肉の町」を活かす仕掛けとして「バーベキューがいい!」

「各実行委員の組織でビール売りや金魚すくいをやればいい!」なるほど、大人も子供も楽しめそうですね。

カヌー、パドルボート、キャンプといった自然体験や、環境学習、グラウンドゴルフ、石を投げる水切り大会や水上運動会をやるといった意見も。

果たして、どの案が決定となるのか? 会議の行方にご注目下さい。